

夢に向かって

教育目標 あたたかく たくましい 心と体を持ち、互いに学び合う児童の育成

長崎市立愛宕小学校

校長 中村 秀一郎

電話 826-6062

黄色帽 ひまわりの花 明日を見る



昨朝、挨拶運動を始めようと校舎前花壇を歩いていると、大輪のヒマワリの花を見つけました。幼少だった頃、夏といえばセミ、プール、かき氷、そしてヒマワリだったような気がします。咲いたばかりだったこともあり、たくさんのミツバチが飛んできて蜜を吸っていました。一輪の花、小さな生き物、どれも懸命に生きようとしています。生命の躍動感を感じました。

もうすぐ夏休み

1週間後には、終業式を迎えます。新型コロナウイルス感染拡大を心配しながらの毎日、よく言い表せませんが焦燥感（あせり）を感じています。

子供たちは元気で、学校に活気を感じます。朝からの挨拶は、6年生や児童会活動（生活委員会）の取組によって、「ワンストップ 挨拶」ができるようになってきました。私が朝から挨拶運動をしていて感じることは、①確かに、相手に伝わるような挨拶（ワンストップ、お辞儀をしながら）ができるようになってきた。②中には、相手の目を見て挨拶ができるお子さんがいる。

ということです。目が合わないお子さんがいることが残念ですが、家庭の皆さんの協力を得ながら、少しずつ高まっていけばいいなと思っています。夏休み、御家庭で目を見た挨拶に取り組んでみてください。

青パト総会



先日、「青パト総会」に出席しました。その中で、特に話題になったことを2点記しますので、お子さんに話してみてください。

参考までに、「青パト」は、地域の防犯意識と犯罪抑止力の向上のために組織されているものです。小島中学校区では、年間162回出動（昨年度実績）し、1回あたり27km以上走っているそうです。子供たちの安心に一役買っています。

- 1 子供たちの青パトの認知度が下がってきている。（総会に参加してみますと、「地域の防犯のためにボランティア活動してくださっている方々のことを知らせる必要がある。」と感じさせられました。）
- 2 長崎警察署の生活安全課の方の話
 - (1) 声掛け事案が増加してきている。推測できる理由として。コロナ禍で出歩く人が減り、不審者のハードルが下がっているのではないかなあと思う。
 - (2) 特殊詐欺の件数は減少しているが、被害額は増加している。理由として、コンビニなどで購入できる電子マネーを巧みに利用や、店舗外のATMを使用しているように感じる。
 - (3) 通学時間帯にスピードを上げて通過している自動車を見かけて危ない。また、最後は一人になっての下校になるのだが、極力、一人で歩く区間を短くするようにしてほしい。